



第24回

くわしくは 生涯学習課

☎0288-21-5182

今月は豊岡公民館・落合公民館・足尾公民館を紹介します。

豊岡公民館

豊岡公民館では12月にそば打ち教室を3回開催し、大桑町の植木忠重さんうえきただしげに指導を受けました。

日光産のそば粉を使って、次の手順でそば打ちを行いました。

①そば粉をふるいにかけてなめらかにする ②水を少量加えながら、生地を作る(生地の水加減は非常に重要なポイントで、そばの出来に直結します) ③菊練りをして空気を抜く ④麺棒で四角に延ばして細



そば打ち教室の様子

日光市ふくろうの森 手塚登久夫石彫館

作品紹介



手塚登久夫 作  
「冨月夜Ⅲ '89」

切りにする

参加者の多くが初心者でしたが、皆さん和気あいあいと取り組んでいました。感染症対策のため、試食などは行わず、出来上がったそばは各自持ち帰りました。

今年度の参加者募集は終了しましたので、興味がある方は、来年度開催する際にご参加ください。

問合せ先：豊岡公民館 ☎(21) 8216

落合公民館

10月に落合公民館・落合地区スポーツ協会の共催で、落合地区初めての「ニュースポーツ体験教室」を開催しました。落合中学校の体育館を会場に子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方、25名が参加しました。

参加者は、ポッチャ、スポーツ吹き矢、カローリング、バツゴ、マグダーツ、スカットボールを体験しました。体験した方からは「おもしろかつた。運動が苦

た。運動が苦手でできなかつた」「来年もやるなら参加したい」「なかなか体験できない種目をたくさん体験できて楽しかった」などの声があり、笑顔あふれる時間となりました。

来年度もニュースポーツ関連の事業を開催予定ですので、ぜひ、ご参加ください。

問合せ先：落合公民館 ☎(27) 1111

足尾公民館

足尾公民館で今年度開催した、高齢者対象の講座「シルバーセミナー」全3回の内容を紹介します。

第1回は、6月に手先を使って簡単に楽しめる「ちぎり絵体験教室」を開催しました。15名の参加者が事前に選んだア

シサイヤアヤ



ちぎり絵体験教室



スポーツ吹き矢体験

メなどの作成キットで、ちぎり絵愛好者の神山千枝子さんかみやまちえこからアドバイスを受けながら、自分の作品を完成させました。作品作りの喜びや、達成感を味わっていたようでした。

第2回は「音楽鑑賞教室」と題してピアノと歌のコンサートを開催しました。クラシックから懐メロまでの演奏や歌声に、ピアノ連弾や参加者の歌を交えながら盛りだくさんの2時間でした。出演者の金子知子さんの美しい歌声や川出朋子さん・敦士さんのピアノ生演奏に触れ、リフレッシュができて満足そうでした。心の健康づくりに役立てたと思います。

最後の第3回は「足尾小中学校との交流教室」です。ニュースポーツ(ポッチャとグラウンドゴルフ)を通して、子どもたちと触れ合う中で、普段味わえない楽しさや若いエネルギーをもらい、みんな生き生きとした表情でした。



足尾小学校との交流教室

今後高齢者の皆さんが、生きがいのある生活が送れるよう、趣味や教養・健康維持などについて学習する機会や企画を考えていきます。

問合せ先：足尾公民館 ☎(93) 3332

# あいにいく、NIKKO

「ガイドカード」に込めたNIKKO「愛」と魅力をガイドたちが語ります 第2回

くわしくは 観光課 観光交流推進係 ☎0288(2)5196

NAOCC ナオック 吉田凜汰朗さん ガイド歴5年



私がガイドに携わるようになったきっかけは、高校3年生の時に現在所属しているNAOCCで、アルバイトを始めたことです。その時はまだガイドをしておらず、裏方の仕事をしていたのですが、ツアーから帰ってくる先輩方が、お客様を楽しませて満面の笑みで戻ってくる姿を見て、カッコいいなと思います、そこからガイドになりたいと少しずつ思い始めました。

ガイドになったばかりの頃は日光についての知識はほぼなく、日光東照宮くらいしか知らなかったのですが、大自然を利用した四季折々の遊びや、ローカルグルメなどを先輩方に教えてもらい、日光を深く知っていきました。「わたしがあいる日光」は、秋のNAOCCです。鬼怒川温泉街の山々の景色は、色の変化で四季をはっきりと感じさせてくれます。紅葉のシーズンになると緑から黄、赤と色付いていく渓谷は、夏とはまた違った景色と空気でラフティングを楽しむことができます。

大自然や、歴史ある伝統的な建造物など、季節の変化を伝統と共に肌で感じる事ができる日光の魅力を、これからもアクティビティを通してお客様と一緒に楽しみながら、共有・発信して伝えていきたいと思っています。

「あいにいく、NIKKO」は、市が組織・運営する「日光市観光推進協議会・ガイド部会」の有志たちの取り組みです。令和3年度に作成した「ガイドカード」とともに、ガイドたちの魅力、日光市の魅力を紹介します！  
前号の記事や参加団体の情報、これまでの取り組みなどを市ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

日光インタープリター倶楽部 須藤和民さん ガイド歴12年



私は定年退職後にガイドデビューしました。その原点は登山です。小学校の頃の男体山登拝祭をきっかけに、地元の山岳会に入り、夢中で山に出かけました。山は四季に応じて常にいろいろな表情を見せてくれます。朝の光に輝く緑、雨に煙る原生林、月光にきらめく雪原。しかし、日光の場合、魅力はそれだけではありません。古人の思いのこもった山岳宗教の遺跡が数多く存在しています。

「わたしがあいる日光」は、古道の奥に位置する滝尾神社です。祭神は女峰山。鎌倉期より日光三所権現の一つとして信仰され、現在に至る歴史の中で、日光の変遷を見守ってきました。今なお残る神域は朝に、夕に、雨に、雪に、霧に神秘的な姿を保ち、外国の方を含め多くの人を引き付けます。

日々、ガイドとして「いかに生きた言葉で生きた表現をできるか」を探求しています。思い入れのない話は聞く人にとってはただの音になってしまいます。少しでも日光を知ってもらえるように言葉を研ぎ澄ませていきたいと思っています。日光には雄大な自然があり、そこに集う人々が日光の歴史を、文化を醸造してきました。これから次世代の人にもこの景観を伝えていくのが私たちの使命ではないでしょうか。

